

持経宿、平治宿の迎春準備

◇実施日 12月8日(日) 雪

◇参加者 沖崎吉信、濱野兼吉、畑林秀味・清子、松本吉殖、湯

川一郎、大江徳子、西克、梶野照雄、高橋桂太、塩川

真武、藤原裕一郎(初、御所市)、下北山村地域振興

課・家郷亮介課長、栗山有佳、初谷直春(栗山友人、

栃木県) 15名

12月に入り残りの行事も本日を含め2回のみとなった。今日は持経宿、平治宿をメインとして、3カ所、4棟と千年桧のお正月準備が対象で、周到に準備を行った。

11月までは比較的暖かい日が続いていたが、この冬一番ともいえる寒気が南下し、前日の天気予報で紀伊半島山間部でも雪となっていた。エイヤーで持経宿までの乗り入れを決意。今回は村役場の家郷課長が初参加。同じく役場の栗山さんの友人で栃木県の初谷君も初めて参加された。御所市の藤原裕一郎君からも初参加の申し出があつて、遠路駆けつけてくださった。また、久々の塩川君の顔もあった。

午前8時半前、スポーツ公園の駐車場に全員が集まり、初参加の皆さんを紹介、今日の予定を伝えて沖崎、大江、西、役場車の4台で池郷林道へ入る。ゲート手前にあつた大量の土砂は重機が入つたようで、きれいに撤去されていた。ゲートから先は2〜3回落石を取

り除いたが、溝が均されている箇所も多くあり、ほぼ通常の状態だった。積雪はゲートの手前から続いており、持経宿までの林道はゆつくりと慎重に進んだ。1時間弱で持経宿に着く。



スポーツ公園に集合



持経宿で勤行



本日の参加者

池郷林道を始めて走つた家郷課長から「セダンではなく、必ず四駆車で来てくれと言われた訳がよくわかりました」との話があつた。持参した荷物を小屋に運ぶ。小屋周辺には3〜4cmの積雪があり、平治宿トイレ棟屋根での作業は危険なため、松本、畑林秀のお二人には持経宿に残っていただく事になった。このため持経宿の作業者は沖崎、大江、畑林清を含めた5名で、持経宿と千年桧を担当することとした。

【持経宿、千年桧班】

平治宿班を見送ってからすぐ、5人で千年桧へ向かう。ハシゴとお供えは平治宿班が運んでくれたので、何も持たずに歩いた。男3名で千年桧のしめ縄取替を行う。何度も経験しているので手際よく進

むが、最後の両端を細紐で縛り付けるのが寒さで指先の感覚が無くなり、交代してやっと固定できた。沖崎がハシゴから落ちるハプニングもあったが、低い位置だったので大事には至らなかった。寒い時期の屋外作業は十分な注意が必要だ。

しめ縄取替の間、女性陣はお堂の整理・清掃とお供えの取り換えを行った。堂内の増加の櫛はネズミにかじられて使えなくなっていた。小屋に戻って、雨水槽の水を抜き、お正月飾りの取り付けやマキの補充などを行ったが、強風と降雪で屋外の作業はほとんどできなかった。

お昼過ぎに平治宿班が戻ってきて、昼食後持経宿を後にした。

(記；沖崎)

【平治宿班】



平治宿に着く

お正月飾りを設置

持経宿のお堂で勤行した後、平治宿に向かう。気温はマイナス1℃位だが西風が強く、体感温度はマイナス5℃くらいに感じる。

ゆっくり休憩すると体が冷え切ってしまうので、いつも休む中又尾根の分岐も後続を待つだけにした。高橋君と2人で平治宿に着き、ストーブに火を入れる。全員が着くまでに8分ほどあったが、その間に室内の温度は2℃上がった。平治宿小屋は小さいので暖房効率がいいようだ。手早くお正月飾りを置き玄関にしめ飾り、カレンダ―を取り換えて小屋内で休憩する。村吉さんが10日、11日に来て水が必要な為、ポリタンク、雨水槽共にそのままにした。

30分ほど小屋で暖まり持経宿に引き返した。風がなく、太陽が出ていれば、極端な低温ではないので屋外の作業も可能だが、風が強くと雪も降ったり止んだりを繰り返していたので、水場の確認も中止した。お昼過ぎに持経宿に戻り、昼食後下山した。(記；梶野)



新しいしめ縄

持経宿のお正月飾り

持経宿北の奥駈道

行動タイム

スポーツ公園 08:30→09:22 持経宿 09:33→10:37 平治宿 11:15→12:05 持経宿 13:05→14:00 スポーツ公園